

この校長室だよりを記すのも残りわずか。と思うと、過去を振り返りたいのは人の性。読み返せば色々なことがあったなあ、と思います。自分事にするために想像力を育むことが大切であることや多文化共生社会への一歩についてもここで記してきました。そして、来し方を再確認するのは大切だと、改めて痛感した次第です。

コロナ禍やウクライナへのロシアの侵攻。思い通りにならない事への苛立ちと不安から、他者を攻撃したり非難したりでドッジボールをする（自分も含めて）人へ、自戒も込めていろいろな思いをこの校長室だよりでは積み重ねてきました。一番の読者ターゲットは、当然生徒の皆さん。皆さんとはもっと（画面越しではなく対面で）話しをしたかったのが、とてもとても残念でした。短時間のスクリーン越しでの（始業式や終業式での）式辞では、どれだけ投げかけた思いが伝わったかは疑問です（が、他に術が思いつきませんでした）。また、保護者の皆さんや本校へ関心を抱いおられる方々、そして本校の教職員へも思いを投げかけてきたつもりですが、はてさて、どれだけ拙い私の思いは届いたのでしょうか。

先日、いつもお世話になる通院先での話しです。とても考えさせられる話しだったので、ここで記すのが一番だと思いました。その話しとは、人類の歴史と比して、産業革命や明治維新、そして太平洋戦争から今までの時間のなんと短いことか。スマホが世に出てきてから何年経ったのだろう。そんな風にざっくりと振り返ると、現在の私たちが、今ここに「居る」この世界って一体何だろうと思わざるを得ないという話しでした。

今から僅か数十年前に、人生100年時代を想像していた人は、それほど多くはいません。と同じくらいかそれ以上に、これから先の世の中がどのように流転するかを知る人は、間違いなくないでしょう。という事実からして、やっぱり、自分のやりたいことを突き詰め求めるのが何より肝要だという当たり前のことに、本当に得心しました。

若かりし頃を振り返って一番悔いているのは、もっと学んでおけば良かったということ。もっともっと本を読んでおけば、もっともっと先生の語りに素直に耳を傾けていれば、と最近思うことが増えました。無情にも、そして有り難いことに時間は一方通行だからこそ、この後悔は消えることはありません。

生徒の皆さんにお願いです。

どうか、一方通行の「今」を大切に紡いでください。私も、是非そうしたいと思います。

いろんな事が毎日身の回りに起こりますが、自身が立つ足下を疎かにせず、少しずつつても歩みを進めれば、積み重ねた日々は大切な何かを自身に与えてくれると信じています。そして、私の大好きな「夢の実現 高取国際」で、皆さんそれぞれの夢が叶えられるように願っています。